

実践例 会津若松市立大戸小学校 平成26年度学校保健文部科学大臣表彰受賞

学区が広い下校後や休日の外遊びをする機会が少ないことと、スクールバス等で登校する児童が多い現状から、肥満防止等の健康教育に力を入れている。

◆学校経営ビジョンへの位置づけ

- 「学校・家庭・地域が一体となった健康教育の推進」を明確に位置付け、管理職のリーダーシップのもとに実施している。

◆教職員の連携

- 年間に、各学年とも、学級担任と養護教諭とのT・T指導を2～3時間、学校栄養職員とのT・T指導を1時間実施している。

◆中学校との連携

- 生活習慣調査の質問項目を中学校と同一にして、9年間の調査結果を累積し、小中一貫した指導を工夫している。

◆学校保健委員会の活性化(年5回開催)

- 校内学校保健委員会を各学期1回(年3回)開催し、児童の健康課題の共有と年間の活動計画や実践、評価、改善(PDCAサイクル)を確実にしている。
- 拡大学校保健委員会を全児童、教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、PTA役員が参加し、年1回開催している。
- 地域学校保健委員会として、拡大学校保健委員会委員に、隣接する保育所や中学校の職員を加えて年1回開催し、地区児童生徒の健康について意見交換を行っている。

◆食育の推進

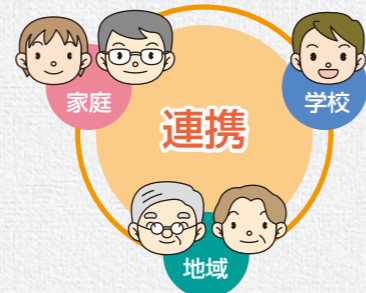
- 全校児童がランチルームで一堂に会する給食の時間に、全体指導の場を設定し、食育推進コーディネーターを中心に、食育推進全体計画に沿って計画的に実施している。

◆体力向上を目指した体育指導

- 年間を通じてマラソンやリレーを中心に、冬期間は縄跳びなど、全児童を対象に朝の体力づくりを実施している。
- 課外活動として、4～6年生の全児童を対象に水泳と陸上競技を実施している。
- 体育の授業では、運動身体づくりプログラムの確実な実施と、新体力テストの課題克服に向けた運動を導入するなど、体力向上に向けた取組を充実させている。

◆家庭との連携

- 給食だより、保健だより、学校だより(年間47号発行)、学校ウェブサイト(年間250回発信)などによる家庭への啓発を充実させている。



成果 肥満傾向児出現率(肥満度20%以上)年次推移

H21年度 19.2% → H22年度 18.9% → H23年度 13.2% → H24年度 10.8% → H25年度 **5.0%**

会津域内における体力・運動能力等検討委員会(ヘルシースマイル事業会津支援会議)

アドバイザー	国立大学法人福島大学 教授 小川 宏
委員長	会津若松市立第二中学校 校長 矢澤 良伸
副委員長	会津若松市立第五中学校 教諭 横田 昌典
委員	湯川村立箕川小学校 校長 菅原 治
	喜多方市教育委員会 指導主事 小杉 一浩
	喜多方市立塩川小学校 栄養教諭 長嶺恵美子
	会津坂下町立坂下東小学校 教諭 佐竹 康子
	昭和村立昭和中学校 教諭 佐瀬日出夫
	喜多方市立高郷小学校 養護教諭 結城 洋子
	会津若松市教育委員会 指導主事 鈴木 正和
	会津若松市立鶴城小学校 養護教諭 長谷川めぐみ
	喜多方市立第一小学校 教諭 鈴木 仁
	西会津町立西会津中学校 教諭 江川 新治
	会津美里町立新鶴小学校 養護教諭 木村 理香
	会津保健福祉事務所 主任栄養技師 大塚 綾子

「会津域内における体力・運動能力等検討委員会提言」「その他参考資料」は

会津教育事務所 会津域内における体力・運動能力等検討委員会をクリック

会津の子どもたちの健やかな成長を願って

～体力向上・肥満防止～

会津域内の現状と対策

- ① 子どもの体力が全国平均よりも劣っている。
- ② 肥満傾向の子どもが全国平均よりも多い。
- ③ 解決策は学校・家庭・地域の連携である。

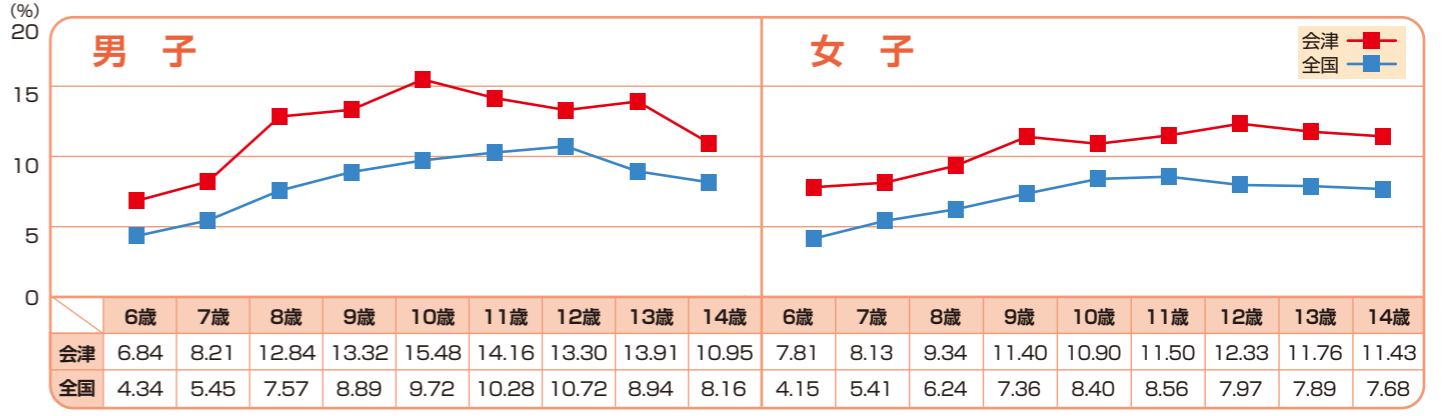
平成25年度の会津域内新体力テストの結果を平成24年度の全国平均と比較すると

	男子										女子									
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ		
小学生	1年	○	-	●	○		○	-	-	○	1年	○	○	●	○		-	-	-	○
	2年	○	-	●	○		-	●	●	-	2年	○	-	●	○		-	-	-	●
	3年	○	●	-	○		●	●	●	●	3年	○	●	-	○		○	-	-	○
	4年	○	●	●	○		●	●	●	●	4年	○	-	●	○		-	●	-	-
	5年	○	●	●	○		●	●	●	●	5年	○	●	●	○		○	-	●	●
	6年	○	●	-	○		●	●	●	●	6年	○	●	-	○		-	-	●	●
中学生	1年	-	-	●	-	●	-	●	○	●	1年	○	○	●	○	○	○	○	○	●
	2年	-	●	●	○	●	●	●	○	●	2年	○	●	●	-	-	●	●	-	●
	3年	-	●	●	-	●	●	●	-	●	3年	-	●	●	-	●	●	●	-	●

(○:全国より良い ●:全国より悪い -:同等)

男子は75項目中**42項目**が、女子は75項目中**26項目**が全国平均よりも下回っています。
全国よりも下回っている率 ●男子**56.0%** ●女子**34.7%**

平成26年度の会津域内肥満傾向児出現率(肥満度20%以上)を平成26年度全国と比較すると



男女ともすべての学年で、全国平均と比べ肥満の割合が大きい。

※肥満傾向児出現率とは以下の式から肥満度を求め、肥満度20%以上の児童生徒の割合。
 肥満度=(実測体重-身長別標準体重)÷身長別標準体重×100

会津域内における体力・運動能力等検討委員会(ヘルシースマイル事業会津支援チーム会議) 福島県教育委員会